平成２９年度　全国学力・学習状況調査について

1. 全国学力・学習状況調査の結果分析（全体の傾向・成果と課題等）

　＊教科：生徒質問

|  |
| --- |
| ①家庭での生活  ・就寝時間、起床時間は毎日、安定しているが、朝食を毎日食べている割合が全国平均に比べると低くなっている。（79.4％）  ・テレビを１日当たり４時間以上見るという割合が非常に高く、（全国12.0％、本校17.8％）その分、学習時間が減ってしまうことが考えられる。  ・家庭学習時間も３時間以上の割合が少ない。（7.5％）さらに２時間以上３時間未満は全国に比べ大幅に少ない。（全国25.3％、本校16.8％）  ・スマートフォンの使い方の約束ごとができている。（全国19.9％、本校29.0％）  ・学校での出来事を積極的に保護者に話をしている。（全国44.0％、本校52.3％）  ②学校での生活  ・「最後までやり遂げる経験」が多く（全国73.3％、本校79.4％）、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する気持ちを持っている。それに伴い、自分には良いところがあると感じている。（29.0％）  ・友達の前で発表することが得意であったり、（18.7％）、友達の意見を最後まで聞ける生徒（67.3％）が全国平均に比べると多い。  ・土曜日の生活は全国に比べ、充実している。（授業・部活動）＊参加率  ・「学校に行くのは楽しい」と思っている生徒は少々、少ない。（全国平均47.2％、本校45.8％）  ・「先生は、良い所を認めてくれますか」、「授業でしっかりと教えてくれますか」という割合は45.8％と40.2％で非常に高い。  ・学校の規則を守っている生徒が多い。（全国63.0％、本校77.6％）  ・友達との約束を守ったり（82.2％）、人が困っているときには積極的に助けている。（54.2％）  ・授業内で話し合いをする活動が多いが、ノートに学習課題を書くことが少ない。  ・読書が好きな割合が非常に高い。（60.7％）  ・国語や数学が「できるようになりたい」と思っている割合が高い。（76～78％）  ③地域や社会での活動、関心  ・地域に対して関心を持ったり、活動に参加している生徒の割合が多い。  ・新聞を見ている生徒の割合が少ない。（毎日読んでいる生徒は2.8％） |

1. 今後の対策（後期の学習指導や家庭学習等）

|  |
| --- |
| ・家庭学習時間をさらに増やすために、「つなかんシート」（家庭学習計画）をさらに進める。  ・「なんとなくテレビ」という感覚が時間の無駄使いになっている。明確な数字を提示し、学年・学級指導を行う。  ・社会科の授業で、「新聞を見ることのすすめ」を行う。  ・苦手気味の数学だが、「できるようになりたい」と強く思っているようなので、引き続き、「AL型」の授業を進め、サポートティチャーとの連携で底上げを行っていく。  ・学級活動、学級指導が充実しているので、今後も自信を持ってすすめていく。 |